

令和2年9月3日  
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直通：257-6972
---------------------------------------------------------------

## 令和2年度病害虫発生予報第6号について

今後発生が予想される大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

- 1 予報期間 9月上旬～9月下旬
- 2 予報内容

### (1)大豆

**ハスモンヨトウ**の発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

**カメムシ類**の発生は**やや多**と予想される。子実肥大期の防除を徹底する。

### (2)果樹

**ナシ黒斑病**の発生は**やや多**と予想される。ポリオキシシンおよびジカルボキシイミド剤は、耐性菌が県内に広く分布しているため、散布回数はそれぞれ年1回にとどめる。

**リンゴ斑点落葉病**の発生は**やや多**と予想される。予防防除を徹底する。

**カキ炭疽病**の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の薬剤防除を徹底する。

**カメムシ類**の発生は**多**と予想される。飛来初期の防除を徹底する。

### (3)野菜・花き

**軟腐病**の発生は**やや多**と予想される。傷口や害虫の食害痕から病原菌が侵入するので、害虫防除や強い風雨後の防除を徹底する。

**ハスモンヨトウ**の発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底する。

**アザミウマ類、アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。